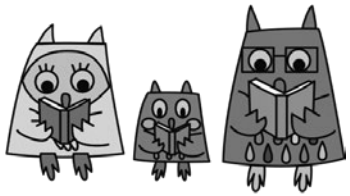


🎁 光の粒が舞いあがる 蒼沼 洋人(著) 		〔PHP研究所〕 1,430円	みかんファミリー 椰月 美智子(著) 		〔講談社〕 1,760円
家庭や学校で思い通りにならないことがある中で、母子家庭の心愛と父子家庭のこはくはボクシングを通じて出会った。心愛はボクシングに打ち込むにつれて、人との関わりや自分の気持ちを伝えることの「勇気」を持つことができるようになっていく物語。			親同士の意気投合により同居することになった中学生の美琴と野々花。思いもよらぬ新生活で、これまで知らなかったお互いの一面を知り、喜びも悲しみも分け合えることに気づく。同居生活を通して成長していく二人と、みかんが美味しい未完成な家族の物語。		
王様のキャリア まひる(著) 		〔講談社〕 1,595円	ピーチとチョコレート 福木 はる(著) 		〔講談社〕 1,650円
eスポーツトリマーで「王様」といわれているlionと、彼にハマっている勝生。ある日、病院で出会った二人がゲームを通して健常者と障がい者の間にある見えない壁を理解し合い、お互いを知っていく物語。お互いの気持ちがぶつかり合う場面が熱い。			体型にコンプレックスをもつ萌々とミックスルーツの外見に悩む莉愛。ヒップホップ教室で出会った二人はラップを学ぶことに。個性の異なる二人だったが、少しずつ理解し合い、友情を築く。ステージのシーンが圧巻。ルッキズムについて問う痛快な物語。		
ブロックでなんでもつくる!ビルダーの頭の中 三井 淳平(著) 米村 知倫(イラスト) 		〔偕成社〕 1,760円	17シーズン 巡るふたりの五七五 百舌 涼一(著) 		〔講談社〕 1,650円
デンマーク生まれのレゴ®ブロックを使い、作品をつくる人を「レゴ®ビルダー」と呼びます。著者の三井さんは、自分で起業しレゴ®社から公式に認定された「レゴ®認定プロビルダー」です。「好き」を仕事にする極意と興味をほりさげる大切さを語る一冊。			過去のトラウマから引っ込み思案になってしまった音々。体育祭のスローガンを考案したことがきっかけで、クラスメイトの天神くんには俳句の世界に誘われる。無口な音々と完璧に見える天神くんの秘密とは。言葉の力を感じ、自分らしさを見つめ直す感動の物語。		

🎁 わたしは食べるのが下手 天川 栄人(作) 		〔小峰書店〕 1,760円	学校に行かない僕の学校 尾崎 英子(作) 		〔ポプラ社〕 1,760円
会食恐怖症の葵、過食嘔吐の咲子。二人の中学生が給食の「完食月間」に給食革命を起こしていく中で、「食べられない」のは自分だけでなく、他の生徒たちにも宗教や家庭などの事情がある事を知る。彼女たちが食べものを美味しいと思えるまでの食育物語。			ある事がきっかけで学校に行かなくなった中学生の薫。不登校はいじめだけではなく、この年齢だからこそ、自分の中にある葛藤や悩みが原因のこともある。寮付きの森のフリースクールに行く事により、自分を閉じ込めていた事実と向き合い大人へと近づく物語。		
待ってる! 甲子園 日比野 恭三(著) 		〔ポプラ社〕 1,980円	15歳の昆虫図鑑 五十嵐 美伶(著) ケレンア、柏 大輔(イラスト) 		〔講談社〕 1,650円
特別支援学校の高校生たちが甲子園を目指すことは不可能なのだろうか?それぞれの障がいと困難を乗り越えて、連合チームではなく単独チームとして甲子園を目指すまで。これまで無理だと思われていたことに挑戦した教師と生徒たちの熱いノンフィクション。			虫オタクの吉岡さんがクラスメイトを観察したら? 悩み多き中学生たち4人は、良くも悪くも思ったことを率直に言ってしまう吉岡さんとの関わりで、ありのままの自分を受け入れていく。5人それぞれを昆虫の生態に例えた性格分析が秀逸。爽やかな物語。		

スラムに水は流れない ヴァルシャ・パジャージ(著) 		〔あすなろ書房〕 1,760円	6days 遭難者たち 安田 夏菜(著) 		〔講談社〕 1,650円
インドの都市ムンバイのスラムでは水不足が深刻だ。日本では蛇口をひねると水が出る。これは世界規模でみると当たり前ではないことに気づく。水不足により争いが起こる都市で暮らす中学生が、家族や友達とともに学ぶことをあきらめずに未来を切り拓いていく物語。			山に登ることは100%自己責任。不十分な装備で登山を試みた元登山部の美玖たち女子高生3人は、誤った判断を続け、遭難した。無事帰還するために自分の命と向き合った6日間の物語。巻末に収録された山岳遭難防止アドバイザーによるおまけページも良い。		
加藤セチと女性科学者たち 加藤 祐輔(著) 		〔玉川大学出版部〕 2,750円	僕は猛禽類のお医者さん 齊藤 慶輔(著) 		〔KADOKAWA〕 1,760円
家計を助けるために教師になり、北海道の北星女学校(現・北星学園中学高等学校)で教え、女性として初の北海道帝国大学(現・北海道大学)に入学。その後、さらに研究者とし女性初の理化学研究所の主任となる。女性科学者、加藤セチの生涯の伝記。			釧路湿原野生生物保護センターで猛禽類の獣医師として働く著者の奮闘記。自然で生きる野生生物は人間の作ったものと、それにより破壊された環境でどのように生きているのか。これまでの自身の経験と研究から、人間と野生動物の共生について中高生に伝える。		
🎁 それはわたしが外国人だから? 安田 業津紀(著) 金井 真紀(絵・文) 		〔ヘウレーカ〕 1,980円			
「人間らしい生活をする」というあたりまえの権利を守られていない「外国ルーツ」の人々がいる。難民・移民・入管法は今、どんな問題を抱えているのか。四人の方への取材によるお話と、中学生にもわかりやすい「なぜ?」に答えるQ&Aで構成されている。					



戦争は、 ジョゼ・ジョルジュ・レトリア(文) アンドレ・レトリア(絵) 		〔岩波書店〕 2,200円	🎁 わたしは、あなたとわたしの区別がつかない 藤田 壮真(著) 		〔KADOKAWA〕 1,650円
「戦争は、自分がどこで恐れられ、歓迎されるのかを、よくわかっている」「戦争は、何も知らない人たちの柔らかな夢に入りこむ」。『戦争は、』の言葉でさし出される静かで禍々しい世界。ポルトガルを代表する文学者の詩と息子の絵で戦争の正体が暴かれる。			中学3年時の夏休みの課題作文、タイトル「自閉症を持つ私から見た日常」が文部科学大臣賞となり各方面で大きな反響を呼んだ。自閉症者の見えている世界、生きるための術や工夫を、幼稚園時から高校生となった現在まで振り返り素直に綴った瑞々しいエッセイ。		
牛乳から世界がかわる 酪農家になりたい君へ 小林 国之(著) 		〔農山漁村文化協会〕 1,760円	新訳 ジョニーは戦場へ行った ダルトン・トランボ(著) 		〔KADOKAWA〕 1,496円
なぜ牛乳を廃棄するの?バターが足りないなら捨てないで使えば?牛がのんびり食べている草は自然に生えているのではなく、種を蒔いて育てている!?牛を飼う仕事が内包する世界の大きさと複雑さと広がり。酪農の基本のキから魅力までを易しく解説した案内書。			ジョニーは第2次世界大戦の戦場で四肢と顔を失い、頭と首と胴体だけの身となりただベッドに横たわっている。絶望と孤独に死を願っても自殺も出来ない。やがて果てしない闇のなか彼は人間の尊厳のために戦い始める。モールス信号!頭を激しく枕に打ちつけて。		
音のない理髪店 一色 さゆり(著) 		〔講談社〕 1,980円	🎁 愛ちゃんのモテる人生 宇井 彩野(著) 		〔河出書房新社〕 1,848円
華々しくデビューしたが次作が書けない新人作家は、聴覚障害者として自立を目指し、日本で初めて自分の理髪店を持った祖父を書くことにする。祖父の人生と聾者の親を持つ父と伯母、そして孫である自分の人生が綾をなす物語。話す、書く、手話の別表記が秀逸。			ちょっとフェミニンなゲイの愛ちゃんは、レズビアン文学を学びたい英文科の学生。動画配信で視聴者の悩みに自分の恋愛遍歴を語り若者に寄り添っている。セクシャルマイノリティーとして傷つくことはあるけれど、明るく、優しく、元気に前向きに生きている。		
私の最後の羊が死んだ 河崎 秋子(著) 		〔小学館〕 1,650円	🎁 わたし、サイエンスエンターテイナーになる! 五十嵐 美樹(著) 		〔WAVE出版〕 1,650円
別海の酪農家に生まれ、幼いころから家業を手伝い酪農家の過酷さを実感していた。大学時代に食べた羊肉の美味しさに魅せられ、羊飼いの仕事につく決心をする。「羊飼作家」の誕生と、羊飼いをやめ作家としてのみ立つ道程を軽やかな筆勢で綴る自伝エッセイ。			幼い頃に見た虹の実験がサイエンス・ラブの始まり。博士で大学の准教授のバリバリのリケ女はプリンセス・テンコーが憧れの人!ダンスと科学実験を組み合わせたショーで、あらゆる機会と場所で科学の楽しさを伝える。理系女子のワオ!本気?満載のエッセイ。		

※掲載されている書籍の価格は税込価格です

「こどもたちに読んでほしい200冊」選定の柱

1. 何ものにもくじけない、強じんな開拓精神を育てるために。
2. 人間の幸せに貢献する科学に尽くそうとする心を育てるために。
3. 平和を愛し、幸福な社会をつくろうとする心を育てるために。
4. 人間の尊さを守ろうとする心を育てるために。
5. 想像力を広げ、豊かな情操を育てるために。

【200冊の選定方法】

北海道学校図書館協会選定部の先生方が、毎月2回実施している選定会の中で読んだ多数の作品から厳選しています。

【活用例】

- ①学校では、朝読書や夏・冬休みのおすすめ本として児童生徒に目録を配布、読書感想文の選定図書としているほか、図書購入時の参考資料にも活用
- ②公立図書館では、「200冊コーナー」を設け図書を紹介
- ③北海道日本ハムファイターズと連携して、読書推進キャンペーンの参考図書として活用



北海道日本ハムファイターズでは、2014年から行っている読書促進全道キャンペーン「グラブを本に持ちかえて」の一環で、株式会社パイロットコーポレーションご協賛のもと、「本を読んでファイターズを応援しよう!」キャンペーンを実施します。小学生を対象に夏休み期間前後で、目標冊数(1・2年生=10冊、3・4年生=8冊、5・6年生=6冊)を読み終えた児童にPILOT製文房具がプレゼントされるほか、希望者には、エスコンフィールド HOKKAIDOでの公式戦に200組400名が招待されます。本を選ぶ際には、「こどもたちに読んでほしい200冊」を参考にしてください。(申込期限=7月31日まで 詳しくは球団サイトをご覧ください。)

どさんこ読書応援キャンペーン!

北海道青少年育成協会では、本を読む習慣のある子はもちろん、本に親しみのないこどもたちにも、本を身近に感じてもらい、本を読み、豊かな時間を過ごしてほしい思いから、こどもたちに本をプレゼントする「どさんこ読書応援キャンペーン!」を実施します。



【応募対象】

道内の高校生以下のこどもたち

【応募方法】

- ①200冊目録のプレゼント対象本(🎁マーク)より、希望する本を選びます。
 - ②「どさんこ読書応援キャンペーン!」サイトから、申込みをします。(右下のQRコードよりアクセス)
 - ③申込み後、抽選により当選者が決定!プレゼント本を発送します。
- ※詳細は、「どさんこ読書応援キャンペーン!」サイトをご覧ください。

